

病棟看護補助者についての「よくある質問」

Q1 病棟看護補助者とは、どんな仕事ですか。

A1 医療や看護の現場で、看護職員をサポートするのが看護補助者の仕事です。看護補助者は看護師の資格がないので、医療行為を行うことができません。一人で判断をして仕事することはほとんどなく、基本は看護職員から指示を受け、看護補助者としての仕事を行うこととなります。

病棟看護補助者は、入院している患者の食事や移動など、主に身体的な介助業務（身の周りの世話）に携わります。また、診察への誘導、備品管理といった業務も病棟看護補助者の仕事となります。

Q2 仕事の内容を具体的に教えてください。

A2 具体的には、次のような仕事の内容となります。早出勤務（7:00～15:00）、通常勤務（8:30～16:30）、遅出勤務（12:00～20:00）の三交代のシフト勤務により、業務を行っていただきます。

| 業務区分 | 項目・業務内容 |
|-----------------|---|
| 基本的な考え | (1) 看護チームの一員として組織の目標に沿って業務を行います。 (2) 看護職員の指示のもとに、業務にあたります。 (3) 基本的に看護職員とペア体制をとり、患者のケアにあたります。 |
| 1 生活環境の整備 | (1) 病床および病床周囲の環境整備（清潔・整頓） |
| 2 日常生活の援助 | (1) 身体の清潔に関する世話 ①清拭 ②洗髪 ③着替え ④口腔の清潔 ⑤入浴介助 ⑥手浴・足浴 ⑦整髪・ヒゲ剃り (2) 排泄に関する世話 ①排泄時の援助 ②おむつ交換 ③便器・尿器の片づけ (3) 食事に関する世話 ①配膳・下膳 ②食事介助 (4) 安全・安楽に関する世話 ①体位変換 ②罨法（あんぼう。患部を温めたり冷やしたりする療法）の準備と片づけ ③認知症患者や不安・不穏がみられる患者の見守り (5) 運動と検査の移送の介助 |
| 3 診療に関わる周辺業務 | (1) 診察に必要な書類の整備・準備・補充 (2) 診察に必要な器械・器具類の整備・準備・補充 (3) 診療材料等の補充・整理 (5) 入退院・転出入に関する援助 |

Q3 1日をどのように働くのかを教えてください。

A3 早出、日勤、遅番のそれぞれの1日がわかるように表を作成しましたので、ご覧ください。

| 時間 | 早番 (7:00~15:00) | 日勤 (8:30~16:30) | 遅番 (12:00~20:00) |
|-------|-----------------------------|---|-----------------------------|
| 7:00 | 配茶 | | |
| 7:30 | 配膳 | | |
| 8:00 | 看護師の指示のもと食事介助 下膳、片付け | | |
| 8:30 | 申し送りを聞く チームカンファレンスに参加 | 申し送りを聞く チームカンファレンスに参加 | |
| 8:45 | メッセージ業務 (薬局、庶務課) | 排尿処理 (尿器、ポータブル) 清拭 | |
| 9:00 | 清拭 | | |
| 10:00 | 環境整備 (床頭台、ベッド周囲) メッセージ業務 | 環境整備 (床頭台、ベッド周囲) タオルウォーマーの清掃、清拭タオル補充、ナースステーション清掃 | |
| 10:30 | 清潔ケア (手足浴、洗髪、入浴) | | |
| 11:00 | 休憩 (11時~12時) | 配茶 | |
| 11:15 | | 配膳 | |
| 11:45 | | | |
| 12:00 | 食事介助 下膳、口腔ケア | 休憩 (12時~13時) | 食事介助 下膳、歯磨き介助、片付け |
| 13:00 | 体位変換、おむつ交換 | 体位変換・おむつ交換 | 吸引瓶洗浄、吸引物品補充 |
| 14:00 | リハビリ、検査等送迎 汚物処理室片付け、物品洗浄 | 排尿処理 (尿器、ポータブル) おむつ補充、回診車整備 | 収納棚整理、病室手指消毒 薬、手袋補充 |
| 15:00 | 業務終了 | 清潔ケア (手足浴、洗髪、爪切り) | 体位変換・おむつ交換 |
| 15:30 | | 体位変換・おむつ交換 | 休憩 (15時~16時) |
| 16:15 | | メッセージ業務 (薬局、庶務課、看護局にベッドマップ提出) | ナースステーション、処置室 流し台清掃、ゴミ回収 |
| 16:30 | | 業務終了 | 体位変換・おむつ交換 |
| 17:00 | | | 配茶 |
| 17:30 | | | 配膳 |
| 18:00 | | | 食事介助、歯磨き介助片付け 下膳 |
| 18:30 | | | 体位変換、おむつ交換 |
| 19:00 | | | メッセージ業務 (薬局) |
| 19:30 | | | 排尿処理 (尿器、ポータブル) |
| 20:00 | | | 業務終了 |

※ 休憩時間は、目安の時間帯を記載しています。

Q4 病院で働いた経験や特別な資格がなくても働けますか。

A4 特に必要はありませんが、介護関係の資格や経験がある場合は、病棟看護補助者の仕事になじみやすいと思います。

Q5 採用はどのように決まりますか。

A5 履歴書を提出していただき、看護局で面接をして採用するかどうかを決定しています。

病棟看護補助者は、患者に接することが多く、看護職員とのチームで業務を行い、身体的な活動量も多いので、一般的な社会常識、接遇、コミュニケーション能力、体力などを確認させていただきます。

Q6 病棟看護補助者として、どのような人を求めていますか。

A6 たとえですが、次のような方が適任だと考えています。

- ・人のお世話が好きな方
- ・前向きな方
- ・患者を支える仕事がしたい方
- ・コミュニケーション能力がある方
- ・フットワークの良い方
- ・清潔感のある方
- ・病院や介護施設の現場での経験がある方
- ・「介護職員初任者研修」の資格を活かして仕事がしたい方
- ・病棟の仕事に携わりたい方

Q7 病棟看護補助者のやりがいを教えてください。

A7 医師や看護職員が本来の業務をスムーズに行えるようにサポートする役割ですので、本当に重要な仕事です。どの病棟で働いても、医療の現場の尊さと大切さを学ぶことができますし、患者にとっては身の回りのお世話をしてくれる存在として、感謝されることが多い仕事です。働く自分を誇りに思うことができるでしょう。

また、看護職員のサポート業務を行うので、経験を積むと医療の専門的な知識が身につくため、看護職員を目指すきっかけになる人も少なくありません。

Q8 病棟看護補助者の心構えを教えてください。

A8 最も大事な心構えとして、ささいなミスでも患者の命に関わるという意識と責任感を持って仕事に臨むことが必要です。そして、看護職員をサポートするためには、「医療の現場に対する理解」が必要になります。

病棟看護補助者とはどういう風に働くのか、どう看護職員をサポートするのかを知っておかなければなりません。未経験の場合、最初は分からないことが多く、戸惑いもあると思います。

しかし、指示を受けながら日々の業務を遂行し、一步一步成長することで、理解が深まっていくでしょう。

Q9 病棟看護補助者のユニフォームを教えてください。

A9 次の写真のとおりです。色はブルーで、左が男性用、右が女性用です。貸与となります。

